

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／不動産投信（リート）	
信託期間	約5年間（2012年6月27日～2017年6月13日）	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	円ヘッジコース （毎月分配型）	イ. ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）II-グローバル・リートα・ファンド（円ヘッジクラス）」（以下「リートα・ファンド（円ヘッジクラス）」といいます。）の受益証券（円建） ロ. ダイワ・マネーストック・マザーファンドの受益証券
	通貨セレクトコース （毎月分配型）	イ. ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）II-グローバル・リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）」（以下「リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）」といいます。）の受益証券（円建） ロ. ダイワ・マネーストック・マザーファンドの受益証券
運用方法	円ヘッジコース （毎月分配型）	①主として、リートα・ファンド（円ヘッジクラス）の受益証券を通じて、リートへの投資とオプション取引を合わせたカバードコール戦略を構築し、信託財産の成長をめざします。 ②当ファンドは、リートα・ファンド（円ヘッジクラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態、リートα・ファンド（円ヘッジクラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。 ③リートα・ファンド（円ヘッジクラス）では、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないます。
	通貨セレクトコース （毎月分配型）	①主として、リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）の受益証券を通じて、リートへの投資とオプション取引を合わせたカバードコール戦略を構築するとともに、為替取引を行ない、信託財産の成長をめざします。 ②当ファンドは、リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態、リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。 ③リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）では、為替取引を活用して、選定通貨（※）で実質的な運用を行ないます。 ※当ファンドにおいて、選定通貨とは、投資対象とする外国投資信託の通貨運用助言会社の助言に基づき決定した複数の通貨をいいます。
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に、基準価額の水準を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。また、第1計算期末には、収益の分配は行ないません。	

通貨選択型ダイワ先進国リートα

円ヘッジコース（毎月分配型）
通貨セレクトコース（毎月分配型）

運用報告書（全体版）

第36期（決算日 2015年7月13日）
第37期（決算日 2015年8月13日）
第38期（決算日 2015年9月14日）
第39期（決算日 2015年10月13日）
第40期（決算日 2015年11月13日）
第41期（決算日 2015年12月14日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「通貨選択型ダイワ先進国リートα円ヘッジコース（毎月分配型）／通貨セレクトコース（毎月分配型）」は、このたび、第41期の決算を行ないました。

ここに、第36期～第41期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先（コールセンター）

TEL 0120-106212

（営業日の9:00～17:00）

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

<5735>

<5736>

★通貨選択型ダイワ先進国リートα 円ヘッジコース (毎月分配型)

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			S & P先進国リート指数 (現地通貨建て)		公社債 組入比率	投資信託 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
12期末(2013年7月16日)	円 9,773	円 80	% 3.3	12,290	% 5.8	% 0.0	% 98.9	百万円 4,197
13期末(2013年8月13日)	9,535	80	△1.6	11,853	△3.6	0.0	99.2	4,120
14期末(2013年9月13日)	9,264	80	△2.0	11,566	△2.4	0.0	98.9	4,023
15期末(2013年10月15日)	9,423	80	2.6	11,988	3.7	0.0	99.5	3,869
16期末(2013年11月13日)	9,324	80	△0.2	11,875	△0.9	0.0	99.0	3,817
17期末(2013年12月13日)	8,910	80	△3.6	11,443	△3.6	0.0	99.0	3,615
18期末(2014年1月14日)	9,145	80	3.5	11,909	4.1	0.0	98.9	3,622
19期末(2014年2月13日)	9,196	80	1.4	12,298	3.3	0.0	99.0	3,370
20期末(2014年3月13日)	9,217	80	1.1	12,529	1.9	0.0	99.3	3,152
21期末(2014年4月14日)	9,196	80	0.6	12,621	0.7	0.0	98.9	2,825
22期末(2014年5月13日)	9,352	80	2.6	13,282	5.2	0.0	99.5	2,722
23期末(2014年6月13日)	9,303	80	0.3	13,406	0.9	0.0	98.9	2,605
24期末(2014年7月14日)	9,272	80	0.5	13,652	1.8	0.0	98.9	2,573
25期末(2014年8月13日)	9,186	80	△0.1	13,659	0.1	0.0	98.8	2,476
26期末(2014年9月16日)	9,076	80	△0.3	13,512	△1.1	0.0	98.8	2,380
27期末(2014年10月14日)	8,889	80	△1.2	13,471	△0.3	0.0	99.1	2,232
28期末(2014年11月13日)	9,117	80	3.5	14,369	6.7	0.0	98.9	2,162
29期末(2014年12月15日)	9,079	80	0.5	14,747	2.6	0.0	98.9	1,766
30期末(2015年1月13日)	9,124	80	1.4	15,736	6.7	0.0	98.9	1,676
31期末(2015年2月13日)	9,069	80	0.3	15,969	1.5	0.0	98.8	1,664
32期末(2015年3月13日)	8,796	80	△2.1	15,496	△3.0	0.0	98.2	1,595
33期末(2015年4月13日)	8,821	80	1.2	15,833	2.2	0.0	98.9	1,568
34期末(2015年5月13日)	8,410	80	△3.8	15,206	△4.0	0.0	98.7	1,495
35期末(2015年6月15日)	8,184	80	△1.7	14,898	△2.0	0.0	99.0	1,420
36期末(2015年7月13日)	8,141	80	0.5	14,941	0.3	0.0	99.2	1,375
37期末(2015年8月13日)	8,140	80	1.0	15,266	2.2	0.0	99.2	1,370
38期末(2015年9月14日)	7,705	80	△4.4	14,294	△6.4	0.0	98.6	1,269
39期末(2015年10月13日)	7,979	80	4.6	15,319	7.2	0.0	99.2	1,280
40期末(2015年11月13日)	7,841	80	△0.7	15,046	△1.8	0.0	98.9	1,226
41期末(2015年12月14日)	7,776	80	0.2	15,064	0.1	0.0	98.2	1,228

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P先進国リート指数(現地通貨建て)は、同指数の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P先進国リート指数(現地通貨建て)の所有権およびその他一切の権利は、S&P Dow Jones Indices LLCが有しています。S&P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

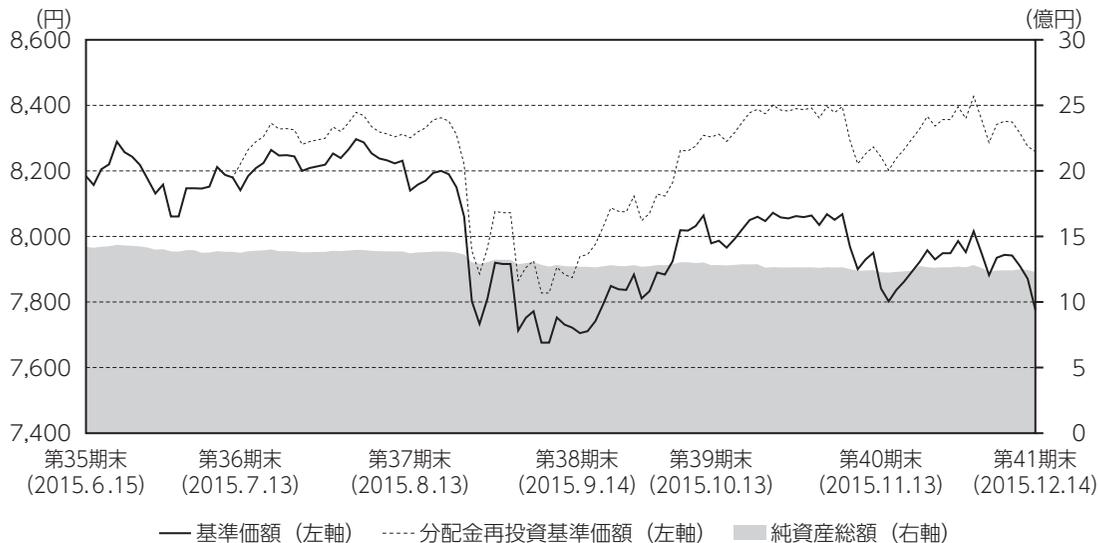
(注4) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。

★通貨選択型ダイワ先進国リートα 円ヘッジコース (毎月分配型)

《運用経過》

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

■基準価額・騰落率

第36期首：8,184円

第41期末：7,776円 (既払分配金480円)

騰落率：0.9% (分配金再投資ベース)

■基準価額の主な変動要因

クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト (ケイマン) II グローバル・リートα・ファンド (円ヘッジクラス) (以下「リートα・ファンド (円ヘッジクラス)」) とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資した結果、リートα・ファンド (円ヘッジクラス) の上昇が寄与し、基準価額は上昇しました。リートα・ファンド (円ヘッジクラス) については、先進国のリートへの投資とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築した結果、先進国リートが上昇したことが寄与し、値上がりしました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。オプション取引は、若干ながらプラス要因となりました。

通貨選択型ダイワ先進国リートα 円ヘッジコース (毎月分配型)

	年 月 日	基 準 価 額		S & P先進国リート指数 (現地通貨建て) (参考指数)		公 社 債 率 組 入 比	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率
		円	%	(参考指数)	%		
第36期	(期首)2015年6月15日	8,184	—	14,898	—	0.0	99.0
	6月末	8,061	△1.5	14,593	△2.0	0.0	98.5
	(期末)2015年7月13日	8,221	0.5	14,941	0.3	0.0	99.2
第37期	(期首)2015年7月13日	8,141	—	14,941	—	0.0	99.2
	7月末	8,239	1.2	15,179	1.6	0.0	98.8
	(期末)2015年8月13日	8,220	1.0	15,266	2.2	0.0	99.2
第38期	(期首)2015年8月13日	8,140	—	15,266	—	0.0	99.2
	8月末	7,916	△2.8	14,641	△4.1	0.0	99.3
	(期末)2015年9月14日	7,785	△4.4	14,294	△6.4	0.0	98.6
第39期	(期首)2015年9月14日	7,705	—	14,294	—	0.0	98.6
	9月末	7,833	1.7	14,585	2.0	0.0	99.2
	(期末)2015年10月13日	8,059	4.6	15,319	7.2	0.0	99.2
第40期	(期首)2015年10月13日	7,979	—	15,319	—	0.0	99.2
	10月末	8,064	1.1	15,674	2.3	0.0	99.2
	(期末)2015年11月13日	7,921	△0.7	15,046	△1.8	0.0	98.9
第41期	(期首)2015年11月13日	7,841	—	15,046	—	0.0	98.9
	11月末	7,986	1.8	15,512	3.1	0.0	97.7
	(期末)2015年12月14日	7,856	0.2	15,064	0.1	0.0	98.2

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

○先進国リート市況

先進国リート市況は小幅ながら上昇しました。当期間の前半は、主要中央銀行の金融緩和政策や、原油を中心とするコモディティ価格の下落によるインフレ期待の後退といった世界的な低金利環境を背景に、上昇基調で推移しました。その後、中国および新興国の経済成長見通しの軟化や人民元切下げ、また、F R B (米国連邦準備制度理事会) が利上げを示唆したことなどによる米国の債券利回り上昇を背景に、世界各国でリーートの利益確定売りが広がりました。一般的に、F R Bによる利上げ時期をめぐる不透明感や中国経済の減速に関する懸念が、リート市場に影響を及ぼす市場環境となりました。

国別の現地通貨建て騰落率を見ると、オランダ (3.7%)、オーストラリア (3.3%)、香港 (2.3%)、米国 (2.3%) が上昇しました。一方で、シンガポール (△9.2%)、カナダ (△6.1%)、英国 (△2.8%) が相対的に振るいませんでした。現地通貨建てのセクター別では、貸倉庫、住宅、産業施設のパフォーマンスが相対的に良好だった一方で、ホテル/リゾートやヘルスケアなどが低調でした。

○短期金利市況

日本では、日銀が量的・質的金融緩和を継続する中、短期金利は低位で推移しました。一方、F R Bは政策金利の誘導目標レンジを0~0.25%で据え置きました。

前作成期間末における「今後の運用方針」

○当ファンド

リートα・ファンド (円ヘッジクラス) とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。また、リートα・ファンド (円ヘッジクラス) への投資割合を高位に維持することを基本とします。

○リートα・ファンド (円ヘッジクラス)

米国で想定される金利上昇による調整リスクはありますが、景気回復に伴う利上げは賃料や稼働率などの改善を通して、中長期的には先進国リートにとってプラス要因になるとみています。また、米国以外の大半の国や地域、特に日本とユーロ圏では緩和的な金融政策が続くとみられ、リート全般にとってプラス材料です。現物リートポートフォリオ部分については、足元では強弱が交錯する米国の経済指標や欧州におけるギリシャのユーロ離脱のリスク等を勘案して、景気敏感セクターとディフェンシブ・セクターのバランスを図っています。

個別銘柄ごとに、価格の方向性に基づき、保有株数の一部または全部にかかるコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。

リートおよびカバードコール戦略の運用はクレディ・スイス・インターナショナルが行ないます。リーートの銘柄選定にあたっては、クレディ・スイスAGの助言を活用します。

為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないます。

○ダイワ・マネースtock・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないます。

ポートフォリオについて

○当ファンド

リートα・ファンド (円ヘッジクラス) とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資しました。また、リートα・ファンド (円ヘッジクラス) への投資割合を高位に維持しました。

○リートα・ファンド (円ヘッジクラス)

安定的な配当が見込め、下値抵抗力がある相対的に割安な銘柄を選定し、リーートのバリュエーションやオプション取引価格等を考慮して、リートポートフォリオを構築しました。現物リートポートフォリオ部分については、セクター別で見ると、貸倉庫と商業施設のオーバーウエートを維持しました。一方で、産業施設とオフィスについては、おおむねアンダーウエートを継続しました。また、金利敏感セクターのヘルスケアはオーバーウエート幅を引き下げました。国別で見ると、米国、オーストラリア、フランスをオーバーウエートで推移させましたが、日本とカナダはアンダーウエートで推移させました。

個別銘柄ごとに、価格の方向性に基づき、保有株数の一部または全部にかかるコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築しました。リートポートフォリオに対するオプションポジションの比率であるカバー率は第36期首は89.3%、第41期末は95.2%でした。

為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないました。

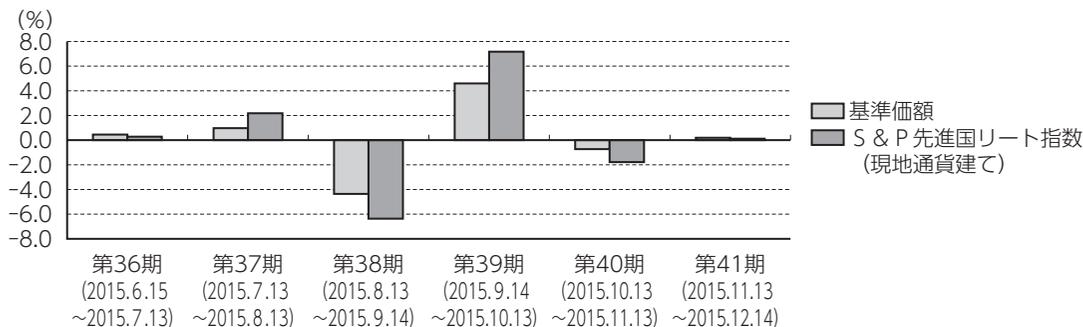
○ダイワ・マネースtock・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



分配金について

第36期から第41期の1万口当り分配金(税込み)はそれぞれ80円といたしました。収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程(1万口当り)」をご参照ください。なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳(1万口当り)

項 目	第36期	第37期	第38期	第39期	第40期	第41期
	2015年6月16日 ~2015年7月13日	2015年7月14日 ~2015年8月13日	2015年8月14日 ~2015年9月14日	2015年9月15日 ~2015年10月13日	2015年10月14日 ~2015年11月13日	2015年11月14日 ~2015年12月14日
当期分配金(税込み) (円)	80	80	80	80	80	80
対基準価額比率 (%)	0.97	0.97	1.03	0.99	1.01	1.02
当期の収益 (円)	80	80	80	80	80	80
当期の収益以外 (円)	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額 (円)	1,408	1,422	1,432	1,450	1,462	1,466

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程(1万口当り)

項 目	第36期	第37期	第38期	第39期	第40期	第41期
(a) 経費控除後の配当等収益	101.68円	94.02円	89.13円	98.21円	91.58円	82.49円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	665.77	669.75	675.86	678.42	681.14	716.98
(d) 分配準備積立金	721.26	739.12	747.45	754.03	769.54	746.68
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	1,488.73	1,502.91	1,512.45	1,530.67	1,542.27	1,546.16
(f) 分配金	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	1,408.73	1,422.91	1,432.45	1,450.67	1,462.27	1,466.16

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。

《今後の運用方針》

○当ファンド

リートα・ファンド (円ヘッジクラス) とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。
また、リートα・ファンド (円ヘッジクラス) への投資割合を高位に維持することを基本とします。

○リートα・ファンド (円ヘッジクラス)

米国で想定される金利上昇による調整リスクはありますが、景気回復に伴う利上げは、賃料や稼働率などの改善を通して中長期的には先進国リートにとってプラス要因になるとみています。また、米国以外の大半の国や地域、特に日本とユーロ圏では緩和的な金融政策が継続されることが想定され、リート全般にとってプラス材料です。現物リートポートフォリオ部分については、米国の金利上昇の影響や世界経済の緩やかな成長等を勘案して、景気敏感セクターとディフェンシブ・セクターのバランスを図っています。

個別銘柄ごとに、価格の方向性に基つき、保有株数の一部または全部にかかるコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。

為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないます。

○ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないます。

1 万口当りの費用の明細

項 目	第36期～第41期		項 目 の 概 要
	(2015.6.16～2015.12.14)		
	金 額	比 率	
信託報酬	53円	0.660%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は8,020円です。
(投信会社)	(17)	(0.215)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販売会社)	(34)	(0.429)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託銀行)	(1)	(0.016)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	0	0.004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監査費用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	53	0.663	

(注1) 期中の費用 (消費税のかかるものは消費税を含む) は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況

投資信託受益証券

(2015年6月16日から2015年12月14日まで)

決算期	第 36 期 ~ 第 41 期			
	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国 (邦貨建)	1,734.482	119,754	3,465.3	239,278

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

投資信託受益証券

(2015年6月16日から2015年12月14日まで)

第 36 期				~	第 41 期				
買 付		売 付				売 付			
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	銘 柄	□ 数	金 額	平均単価		
	千口	千円	円		千口	千円	円		
GLOBAL REIT ALPHA FUND JPY HEDGED CLASS (ケイマン諸島)	289.1	20,000	69	GLOBAL REIT ALPHA FUND JPY HEDGED CLASS (ケイマン諸島)	3,465.3	239,278	69		

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

(1) 当ファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

当作成期間 (第36期~第41期) 中における利害関係人との取引はありません。

(2) ダイワ・マネースtock・マザーファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

(2015年6月16日から2015年12月14日まで)

区 分	第 36 期			第 41 期		
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況D	D/C
公社債	百万円 57,665	百万円 8,560	% 14.8	百万円 -	百万円 -	% -
コール・ローン	1,417,794	-	-	-	-	-

(注) 平均保有割合0.0%

*平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーフンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) 当作成期間中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期間 (第36期~第41期) 中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

*利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期間における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	第 41 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島)	千口	千円	%
GLOBAL REIT ALPHA FUND JPY HEDGED CLASS	17,873.229	1,206,943	98.2

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第 35 期 末		第 41 期 末	
	□ 数	千□	□ 数	千□
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	399	千円	399	千円

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2015年12月14日現在

項 目	第 41 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 1,206,943	% 97.1
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	400	0.0
コール・ローン等、その他	35,745	2.9
投資信託財産総額	1,243,089	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2015年7月13日)、(2015年8月13日)、(2015年9月14日)、(2015年10月13日)、(2015年11月13日)、(2015年12月14日)現在

項 目	第 36 期 末	第 37 期 末	第 38 期 末	第 39 期 末	第 40 期 末	第 41 期 末
(A) 資産	1,390,593,740円	1,386,091,887円	1,289,932,816円	1,311,142,956円	1,243,827,993円	1,243,089,269円
コール・ローン等	25,933,520	26,397,504	38,124,515	40,342,322	30,446,604	35,745,124
投資信託受益証券(評価額)	1,364,259,541	1,359,293,704	1,251,407,622	1,270,399,915	1,212,980,670	1,206,943,426
ダイワ・マネースtock・マザーファンド(評価額)	400,679	400,679	400,679	400,719	400,719	400,719
(B) 負債	14,954,327	15,248,368	20,656,322	30,255,980	17,132,191	14,103,337
未払収益分配金	13,518,781	13,473,433	13,178,059	12,841,781	12,515,482	12,643,088
未払解約金	-	194,338	5,909,496	16,027,945	3,146,490	-
未払信託報酬	1,426,863	1,562,399	1,541,186	1,350,456	1,425,744	1,407,208
その他未払費用	8,683	18,198	27,581	35,798	44,475	53,041
(C) 純資産総額(A-B)	1,375,639,413	1,370,843,519	1,269,276,494	1,280,886,976	1,226,695,802	1,228,985,932
元本	1,689,847,629	1,684,179,229	1,647,257,427	1,605,222,647	1,564,435,361	1,580,386,029
次期繰越損益金	△ 314,208,216	△ 313,335,710	△ 377,980,933	△ 324,335,671	△ 337,739,559	△ 351,400,097
(D) 受益権総口数	1,689,847,629□	1,684,179,229□	1,647,257,427□	1,605,222,647□	1,564,435,361□	1,580,386,029□
1万口当り基準価額(C/D)	8,141円	8,140円	7,705円	7,979円	7,841円	7,776円

*第35期末における元本額は1,736,168,820円、当作成期間(第36期~第41期)中における追加設定元本額は109,803,567円、同解約元本額は265,586,358円です。

*第41期末の計算口数当りの純資産額は7,776円です。

*第41期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は351,400,097円です。

通貨選択型ダイワ先進国リートα 円ヘッジコース (毎月分配型)

■ 損益の状況

第36期 自2015年6月16日 至2015年7月13日 第39期 自2015年9月15日 至2015年10月13日
 第37期 自2015年7月14日 至2015年8月13日 第40期 自2015年10月14日 至2015年11月13日
 第38期 自2015年8月14日 至2015年9月14日 第41期 自2015年11月14日 至2015年12月14日

項 目	第 36 期	第 37 期	第 38 期	第 39 期	第 40 期	第 41 期
(A) 配当等収益	18,618,987円	17,408,053円	16,233,672円	16,143,131円	15,762,936円	14,452,378円
受取配当金	18,618,184	17,407,227	16,232,809	16,142,296	15,762,152	14,450,843
受取利息	803	826	863	835	784	1,535
(B) 有価証券売買損益	△ 10,990,595	△ 2,569,708	△ 72,722,692	42,057,103	△ 23,459,526	△ 11,082,596
売買益	501,904	104,692	1,695,639	42,541,891	290,788	2
売買損	△ 11,492,499	△ 2,674,400	△ 74,418,331	△ 484,788	△ 23,750,314	△ 11,082,598
(C) 信託報酬等	△ 1,435,546	△ 1,571,914	△ 1,550,569	△ 1,358,673	△ 1,434,421	△ 1,415,774
(D) 当期繰越損益(A+B+C)	6,192,846	13,266,431	△ 58,039,589	56,841,561	△ 9,131,011	1,954,008
(E) 前期繰越損益金	△308,914,175	△313,556,294	△304,560,498	△364,952,831	△311,700,522	△321,896,597
(F) 追加信託差損益金	2,031,894	427,586	△ 2,202,787	△ 3,382,620	△ 4,392,544	△ 18,814,420
(配当等相当額)	(112,506,545)	(112,799,155)	(111,333,164)	(108,902,163)	(106,560,926)	(113,311,628)
(売買損益相当額)	(△110,474,651)	(△112,371,569)	(△113,535,951)	(△112,284,783)	(△110,953,470)	(△132,126,048)
(G) 合計(D+E+F)	△300,689,435	△299,862,277	△364,802,874	△311,493,890	△325,224,077	△338,757,009
(H) 収益分配金	△ 13,518,781	△ 13,473,433	△ 13,178,059	△ 12,841,781	△ 12,515,482	△ 12,643,088
次期繰越損益金(G+H)	△314,208,216	△313,335,710	△377,980,933	△324,335,671	△337,739,559	△351,400,097
追加信託差損益金	2,031,894	427,586	△ 2,202,787	△ 3,382,620	△ 4,392,544	△ 18,814,420
(配当等相当額)	(112,506,545)	(112,799,155)	(111,333,164)	(108,902,163)	(106,560,926)	(113,311,628)
(売買損益相当額)	(△110,474,651)	(△112,371,569)	(△113,535,951)	(△112,284,783)	(△110,953,470)	(△132,126,048)
分配準備積立金	125,547,755	126,844,989	124,629,621	123,963,783	122,203,160	118,399,025
繰越損益金	△441,787,865	△440,608,285	△500,407,767	△444,916,834	△455,550,175	△450,984,702

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程(総額)」の表を参照。

■ 収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	第 36 期	第 37 期	第 38 期	第 39 期	第 40 期	第 41 期
(a) 経費控除後の配当等収益	17,183,445円	15,836,144円	14,683,104円	15,766,239円	14,328,522円	13,036,612円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	112,506,545	112,799,155	111,333,164	108,902,163	106,560,926	113,311,628
(d) 分配準備積立金	121,883,091	124,482,278	123,124,576	121,039,325	120,390,120	118,005,501
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	251,573,081	253,117,577	249,140,844	245,707,727	241,279,568	244,353,741
(f) 分配金	13,518,781	13,473,433	13,178,059	12,841,781	12,515,482	12,643,088
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	238,054,300	239,644,144	235,962,785	232,865,946	228,764,086	231,710,653
(h) 受益権総口数	1,689,847,629□	1,684,179,229□	1,647,257,427□	1,605,222,647□	1,564,435,361□	1,580,386,029□

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
	第 36 期	第 37 期	第 38 期	第 39 期	第 40 期	第 41 期
1 万口当り分配金	80円	80円	80円	80円	80円	80円
(単 価)	(8,141円)	(8,140円)	(7,705円)	(7,979円)	(7,841円)	(7,776円)

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、上記()内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

★通貨選択型ダイワ先進国リートα 通貨セレクトコース (毎月分配型)

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			S & P先進国リート指数 (現地通貨建て)		公社債 組入比率	投資信託 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
12期末(2013年7月16日)	円 11,525	円 140	% 4.8	12,290	% 5.8	% 0.0	% 98.9	百万円 39,261
13期末(2013年8月13日)	10,914	140	△ 4.1	11,853	△3.6	0.0	99.2	36,068
14期末(2013年9月13日)	10,681	140	△ 0.9	11,566	△2.4	0.0	99.2	34,800
15期末(2013年10月15日)	11,010	140	4.4	11,988	3.7	0.0	99.0	35,562
16期末(2013年11月13日)	10,605	140	△ 2.4	11,875	△0.9	0.0	99.2	33,549
17期末(2013年12月13日)	10,516	140	0.5	11,443	△3.6	0.0	98.9	32,648
18期末(2014年1月14日)	10,738	140	3.4	11,909	4.1	0.0	98.9	32,999
19期末(2014年2月13日)	10,400	140	△ 1.8	12,298	3.3	0.0	98.9	31,480
20期末(2014年3月13日)	10,342	140	0.8	12,529	1.9	0.0	99.4	29,928
21期末(2014年4月14日)	10,669	140	4.5	12,621	0.7	0.0	99.1	29,364
22期末(2014年5月13日)	10,966	140	4.1	13,282	5.2	0.0	98.6	29,664
23期末(2014年6月13日)	10,904	140	0.7	13,406	0.9	0.0	99.1	28,635
24期末(2014年7月14日)	10,825	140	0.6	13,652	1.8	0.0	99.5	27,637
25期末(2014年8月13日)	10,551	140	△ 1.2	13,659	0.1	0.0	98.7	26,200
26期末(2014年9月16日)	10,654	140	2.3	13,512	△1.1	0.0	98.9	25,862
27期末(2014年10月14日)	10,081	200	△ 3.5	13,471	△0.3	0.0	98.7	24,093
28期末(2014年11月13日)	10,716	200	8.3	14,369	6.7	0.0	98.4	26,229
29期末(2014年12月15日)	10,185	200	△ 3.1	14,747	2.6	0.0	98.6	25,649
30期末(2015年1月13日)	10,098	200	1.1	15,736	6.7	0.0	98.2	25,876
31期末(2015年2月13日)	9,527	200	△ 3.7	15,969	1.5	0.0	98.6	24,883
32期末(2015年3月13日)	9,046	200	△ 2.9	15,496	△3.0	0.0	99.0	24,100
33期末(2015年4月13日)	9,022	200	1.9	15,833	2.2	0.0	98.5	24,026
34期末(2015年5月13日)	8,420	200	△ 4.5	15,206	△4.0	0.0	98.8	21,613
35期末(2015年6月15日)	8,159	200	△ 0.7	14,898	△2.0	0.0	98.8	20,817
36期末(2015年7月13日)	7,992	200	0.4	14,941	0.3	0.0	98.9	19,865
37期末(2015年8月13日)	7,597	200	△ 2.4	15,266	2.2	0.0	98.9	18,190
38期末(2015年9月14日)	6,453	200	△12.4	14,294	△6.4	0.0	98.9	14,766
39期末(2015年10月13日)	6,999	140	10.6	15,319	7.2	0.0	99.3	15,652
40期末(2015年11月13日)	6,830	140	△ 0.4	15,046	△1.8	0.0	99.0	15,181
41期末(2015年12月14日)	6,385	140	△ 4.5	15,064	0.1	0.0	98.9	13,747

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P先進国リート指数(現地通貨建て)は、同指数の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P先進国リート指数(現地通貨建て)の所有権およびその他一切の権利は、S&P Dow Jones Indices LLCが有しています。S&P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

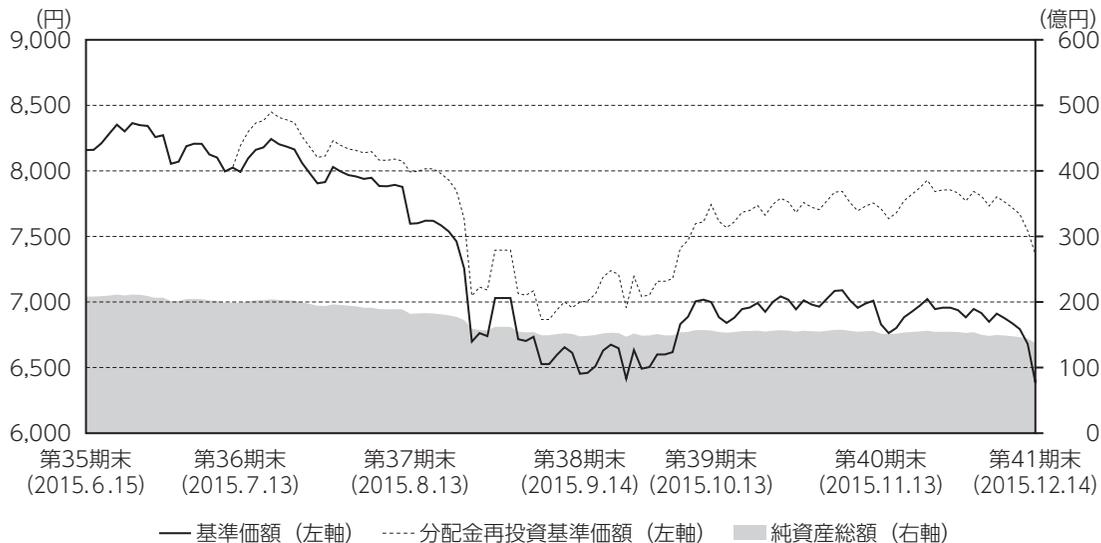
(注4) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。

★通貨選択型ダイワ先進国リートα 通貨セレクトコース（毎月分配型）

《運用経過》

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

■基準価額・騰落率

第36期首：8,159円

第41期末：6,385円（既払分配金1,020円）

騰落率：△9.7%（分配金再投資ベース）

■基準価額の主な変動要因

クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱーグローバル・リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）（以下「リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）」といいます。）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資した結果、リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）の下落がマイナス要因となり、基準価額は下落しました。リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）については、先進国のリートへの投資とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築するとともに、原資産通貨売り／選定通貨（※）買いの為替取引を活用した結果、先進国リートが上昇したことや為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）はプラスに寄与しましたが、選定通貨が対円で下落したことがマイナスとなり、値下がりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。オプション取引は、若干ながらプラス要因となりました。

※選定通貨とは、通貨の選定方針により、為替取引の対象通貨として選定された通貨をいいます。

通貨選択型ダイワ先進国リートα 通貨セレクトコース (毎月分配型)

	年 月 日	基 準 価 額		S & P先進国リート指数 (現地通貨建て) (参考指数)		公 社 債 率 組 入 比	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率
		円	%	(参考指数)	%		
第36期	(期首)2015年6月15日	8,159	—	14,898	—	0.0	98.8
	6月末	8,054	△ 1.3	14,593	△2.0	0.0	99.3
	(期末)2015年7月13日	8,192	0.4	14,941	0.3	0.0	98.9
第37期	(期首)2015年7月13日	7,992	—	14,941	—	0.0	98.9
	7月末	7,995	0.0	15,179	1.6	0.0	99.6
	(期末)2015年8月13日	7,797	△ 2.4	15,266	2.2	0.0	98.9
第38期	(期首)2015年8月13日	7,597	—	15,266	—	0.0	98.9
	8月末	7,030	△ 7.5	14,641	△4.1	0.0	99.2
	(期末)2015年9月14日	6,653	△12.4	14,294	△6.4	0.0	98.9
第39期	(期首)2015年9月14日	6,453	—	14,294	—	0.0	98.9
	9月末	6,504	0.8	14,585	2.0	0.0	98.9
	(期末)2015年10月13日	7,139	10.6	15,319	7.2	0.0	99.3
第40期	(期首)2015年10月13日	6,999	—	15,319	—	0.0	99.3
	10月末	6,981	△ 0.3	15,674	2.3	0.0	99.8
	(期末)2015年11月13日	6,970	△ 0.4	15,046	△1.8	0.0	99.0
第41期	(期首)2015年11月13日	6,830	—	15,046	—	0.0	99.0
	11月末	6,937	1.6	15,512	3.1	0.0	97.0
	(期末)2015年12月14日	6,525	△ 4.5	15,064	0.1	0.0	98.9

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

○先進国リート市況

先進国リート市況は小幅ながら上昇しました。当期間の前半は、主要中央銀行の金融緩和政策や、原油を中心とするコモディティ価格の下落によるインフレ期待の後退といった世界的な低金利環境を背景に、上昇基調で推移しました。その後、中国および新興国の経済成長見通しの軟化や人民元切下げ、また、F R B（米国連邦準備制度理事会）が利上げを示唆したことなどによる米国の債券利回り上昇を背景に、世界各国でリートの利益確定売りが広がりました。全般的に、F R Bによる利上げ時期をめぐる不透明感や中国経済の減速に関する懸念が、リート市場に影響を及ぼす市場環境となりました。

国別の現地通貨建て騰落率を見ると、オランダ（3.7%）、オーストラリア（3.3%）、香港（2.3%）、米国（2.3%）が上昇しました。一方で、シンガポール（△9.2%）、カナダ（△6.1%）、英国（△2.8%）が相対的に振るいませんでした。現地通貨建てのセクター別では、貸倉庫、住宅、産業施設のパフォーマンスが相対的に良好だった一方で、ホテル/リゾートやヘルスケアなどが低調でした。

○為替相場

選定通貨は対円で下落しました。第36期首から2015年6月末にかけては、ギリシャと国際債権団との支援協議が難航し、市場のリスク回避姿勢が強まったことから、安全資産としての円が買われ（円高）、選定通貨は対円でおおむね下落しました。7月から9月にかけても、中国株式市況や商品価格の下落に加え、中国の人民元切下げをきっかけに中国や新興国の景気減速懸念が高まったことで、選定通貨は軟調な推移となりました。しかし10月に入ると、米国の利上げ観測が後退し、金融緩和環境が維持されるとの期待から、資源国通貨や新興国通貨が買い戻され、選定通貨も堅調に推移しました。11月は、各国個別の要因を背景に選定通貨は対円でまちまちな動きとなりましたが、12月以降は原油安や株安などから市場のリスク回避姿勢が強まり、選定通貨は対円で下落しました。当期間においては、インド・ルピー、ロシア・ルーブル、南アフリカ・ランド、ブラジル・レアル、トルコ・リラ、インドネシア・ルピアは対円で下落しました。

○短期金利市況

選定通貨の短期金利は、高い経済成長率やインフレ率を背景に米ドルの短期金利をおおむね上回って推移しました。米国では政策金利の誘導目標レンジは0～0.25%で据え置かれました。

前作成期間末における「今後の運用方針」

○当ファンド

リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。また、リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

○リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）

米国で想定される金利上昇による調整リスクはありますが、景気回復に伴う利上げは賃料や稼働率などの改善を通して、中長期的には先進国リートにとってプラス要因になるとみています。また、米国以外の大半の国や地域、特に日本とユーロ圏では緩和的な金融政策が続くとみられ、リート全般にとってプラス材料です。現物リートポートフォリオ部分については、足元では強弱が交錯する米国の経済指標や欧州におけるギリシャのユーロ離脱のリスク等を勘案して、景気敏感セクターとディフェンシブ・セクターのバランスを図っています。

個別銘柄ごとに、価格の方向性に基づき、保有株数の一部または全部にかかるコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。

リートおよびカバードコール戦略の運用はクレディ・スイス・インターナショナルが行ないます。リートの銘柄選定にあたっては、クレディ・スイスAGの助言を活用します。

原資産通貨売り／選定通貨買いの為替取引を活用して、選定通貨で実質的な運用を行ないます。選定通貨については原則として、シティ世界国債インデックスおよびJPモルガン ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット ブロードの構成国の通貨の中から、金利水準、リスク水準、ファンダメンタルズ、流動性等を考慮し、6つの通貨を選定します。

○ダイワ・マネースtock・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないます。

ポートフォリオについて**○当ファンド**

リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資しました。また、リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）への投資割合を高位に維持しました。

○リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）

安定的な配当が見込め、下値抵抗がある相対的に割安な銘柄を選定し、リートのバリュエーションやオプション取引価格等を考慮して、リートポートフォリオを構築しました。現物リートポートフォリオ部分については、セクター別で見ると、貸倉庫と商業施設のオーバーウエートを維持しました。一方で、産業施設とオフィスについては、おおむねアンダーウエートを継続しました。また、金利敏感セクターのヘルスケアはオーバーウエート幅を引き下げました。国別で見ると、米国、オーストラリア、フランスをオーバーウエートで推移させましたが、日本とカナダはアンダーウエートで推移させました。

個別銘柄ごとに、価格の方向性に基づき、保有株数の一部または全部にかかるコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築しました。リートポートフォリオに対するオプションポジションの比率であるカバー率は第36期首は89.3%、第41期末は95.2%でした。

原資産通貨売り／選定通貨買いの為替取引を活用して、選定通貨で実質的な運用を行ないました。選定通貨においては、金利水準、リスク水準、ファンダメンタルズ、流動性等を勘案し、中長期的な視点から安定したキャリー収益が享受できる通貨を毎月6通貨選定し、運用を行ないました。また、選定通貨合計の比率は、原資産に対しておおむね100%を維持しました。

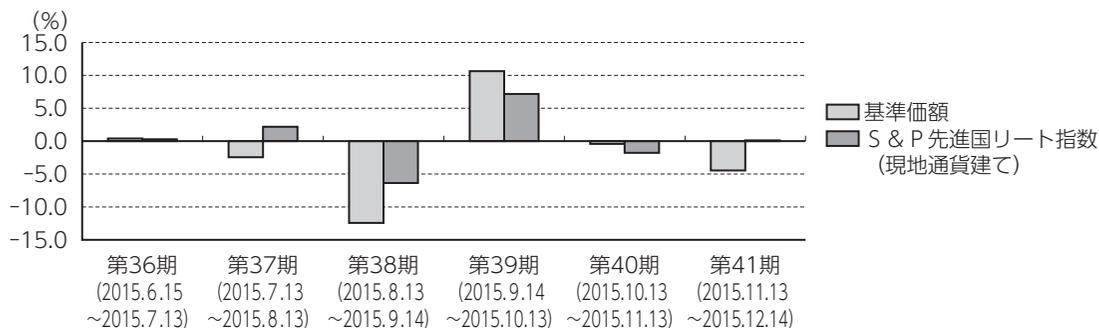
○ダイワ・マネースtock・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



分配金について

1万口当り分配金（税込み）は、第36期から第38期はそれぞれ200円、第39期から第41期はそれぞれ140円といたしました。

収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第36期	第37期	第38期	第39期	第40期	第41期
	2015年6月16日 ～2015年7月13日	2015年7月14日 ～2015年8月13日	2015年8月14日 ～2015年9月14日	2015年9月15日 ～2015年10月13日	2015年10月14日 ～2015年11月13日	2015年11月14日 ～2015年12月14日
当期分配金（税込み）（円）	200	200	200	140	140	140
対基準価額比率（%）	2.44	2.57	3.01	1.96	2.01	2.15
当期の収益（円）	175	147	156	137	133	136
当期の収益以外（円）	24	52	43	2	6	3
翌期繰越分配対象額（円）	3,927	3,875	3,832	3,829	3,824	3,820

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第36期	第37期	第38期	第39期	第40期	第41期
(a) 経費控除後の配当等収益	175.30円	147.68円	156.27円	137.69円	133.72円	136.59円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	2,232.65	2,242.89	2,260.92	2,272.30	2,284.43	2,294.38
(d) 分配準備積立金	1,719.69	1,684.85	1,614.91	1,559.96	1,545.99	1,529.98
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	4,127.65	4,075.44	4,032.11	3,969.97	3,964.15	3,960.96
(f) 分配金	200.00	200.00	200.00	140.00	140.00	140.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	3,927.65	3,875.44	3,832.11	3,829.97	3,824.15	3,820.96

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。

《今後の運用方針》

○当ファンド

リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。また、リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

○リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）

米国で想定される金利上昇による調整リスクはありますが、景気回復に伴う利上げは、賃料や稼働率などの改善を通して中長期的には先進国リートにとってプラス要因になるとみています。また、米国以外の大半の国や地域、特に日本とユーロ圏では緩和的な金融政策が継続されることが想定され、リート全般にとってプラス材料です。現物リートポートフォリオ部分については、米国の金利上昇の影響や世界経済の緩やかな成長等を勘案して、景気敏感セクターとディフェンシブ・セクターのバランスを図っています。

個別銘柄ごとに、価格の方向性に基づき、保有株数の一部または全部にかかるコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。

原資産通貨売り／選定通貨買いの為替取引を活用して、選定通貨で実質的な運用を行ないます。選定通貨については原則として、シティ世界国債インデックスおよびJPモルガン ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケットズ ブロードの構成国の通貨の中から、金利水準、リスク水準、ファンダメンタルズ、流動性等を考慮し、6つの通貨を選定します。

○ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないます。

1 万口当りの費用の明細

項 目	第36期～第41期		項 目 の 概 要
	(2015.6.16～2015.12.14)		
	金 額	比 率	
信託報酬	48円	0.659%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は7,281円です。
（投信会社）	(16)	(0.214)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
（販売会社）	(31)	(0.429)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託銀行）	(1)	(0.016)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	0	0.004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	48	0.662	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2015年6月16日から2015年12月14日まで)

決算期	第 36 期 ~ 第 41 期			
	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国 (邦貨建)	33,998.829	2,185,885	81,606.006	5,284,055

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
(注2) 金額は受渡し代金。
(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2015年6月16日から2015年12月14日まで)

第 36 期 ~				第 41 期			
買 付				売 付			
銘 柄	口 数	金 額	平均単価	銘 柄	口 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
				GLOBAL REIT ALPHA FUND CURRENCY SELECT CLASS(ケイマン諸島)	81,606.006	5,284,055	64

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

(1) 当ファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

当作成期間 (第36期~第41期) 中における利害関係人との取引はありません。

(2) ダイワ・マネースtock・マザーファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

(2015年6月16日から2015年12月14日まで)

区 分	第 36 期			第 41 期		
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況D	D/C
公社債	百万円 57,665	百万円 8,560	% 14.8	百万円 -	百万円 -	% -
コール・ローン	1,417,794	-	-	-	-	-

(注) 平均保有割合0.0%
※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーフンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) 当作成期間中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期間 (第36期~第41期) 中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期間における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファ ン ド 名	第 41 期 末		
	口 数	評 価 額	比 率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島)	千口	千円	%
GLOBAL REIT ALPHA FUND CURRENCY SELECT CLASS	232,923.604	13,592,024	98.9

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第35期末	第 41 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	千口 99	千口 99	千円 100

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2015年12月14日現在

項 目	第 41 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 13,592,024	% 96.1
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	100	0.0
コール・ローン等、その他	545,405	3.9
投資信託財産総額	14,137,529	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2015年7月13日)、(2015年8月13日)、(2015年9月14日)、(2015年10月13日)、(2015年11月13日)、(2015年12月14日)現在

項 目	第 36 期 末	第 37 期 末	第 38 期 末	第 39 期 末	第 40 期 末	第 41 期 末
(A) 資産	20,430,151,665円	18,703,627,890円	15,251,717,520円	16,048,145,643円	15,519,115,993円	14,137,529,891円
コール・ローン等	790,111,647	716,715,392	646,208,870	508,571,611	495,408,361	545,405,704
投資信託受益証券(評価額)	19,639,939,848	17,986,812,328	14,605,408,480	15,539,473,852	15,023,607,452	13,592,024,007
ダイワ・マネースtock・マザーファンド(評価額)	100,170	100,170	100,170	100,180	100,180	100,180
(B) 負債	564,753,122	513,403,597	485,691,747	395,848,513	337,414,374	390,217,825
未払収益分配金	497,149,640	478,858,599	457,677,922	313,107,751	311,187,267	301,418,177
未払解約金	46,556,381	12,141,264	8,500,679	66,285,377	8,125,332	71,066,127
未払信託報酬	20,919,558	22,141,202	19,133,962	15,978,789	17,518,375	17,046,199
その他未払費用	127,543	262,532	379,184	476,596	583,400	687,322
(C) 純資産総額(A-B)	19,865,398,543	18,190,224,293	14,766,025,773	15,652,297,130	15,181,701,619	13,747,312,066
元本	24,857,482,009	23,942,929,965	22,883,896,102	22,364,839,381	22,227,661,988	21,529,869,815
次期繰越損益金	△ 4,992,083,466	△ 5,752,705,672	△ 8,117,870,329	△ 6,712,542,251	△ 7,045,960,369	△ 7,782,557,749
(D) 受益権総口数	24,857,482,009□	23,942,929,965□	22,883,896,102□	22,364,839,381□	22,227,661,988□	21,529,869,815□
1万口当り基準価額(C/D)	7,992円	7,597円	6,453円	6,999円	6,830円	6,385円

*第35期末における元本額は25,514,473,602円、当作成期間（第36期～第41期）中における追加設定元本額は1,060,893,601円、同解約元本額は5,045,497,388円です。

*第41期末の計算口数当りの純資産額は6,385円です。

*第41期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は7,782,557,749円です。

通貨選択型ダイワ先進国リートα 通貨セレクトコース (毎月分配型)

■損益の状況

第36期 自2015年6月16日 至2015年7月13日 第39期 自2015年9月15日 至2015年10月13日
 第37期 自2015年7月14日 至2015年8月13日 第40期 自2015年10月14日 至2015年11月13日
 第38期 自2015年8月14日 至2015年9月14日 第41期 自2015年11月14日 至2015年12月14日

項 目	第 36 期	第 37 期	第 38 期	第 39 期	第 40 期	第 41 期
(A) 配当等収益	456,804,880円	375,884,527円	376,868,026円	311,177,592円	314,863,072円	311,232,213円
受取配当金	456,791,323	375,871,618	376,851,425	311,164,838	314,854,326	311,215,273
受取利息	13,557	12,909	16,601	12,754	8,746	16,940
(B) 有価証券売買損益	△ 354,985,048	△ 819,276,191	△ 2,510,428,314	1,238,332,978	△ 360,974,994	△ 950,762,434
売買益	9,850,920	13,161,602	93,960,674	1,243,656,518	2,315,270	3,842,767
売買損	△ 364,835,968	△ 832,437,793	△ 2,604,388,988	△ 5,323,540	△ 363,290,264	△ 954,605,201
(C) 信託報酬等	△ 21,047,101	△ 22,276,191	△ 19,250,614	△ 16,076,201	△ 17,625,179	△ 17,150,121
(D) 当期繰越損益(A+B+C)	80,772,731	△ 465,667,855	△ 2,152,810,902	1,533,434,369	△ 63,737,101	△ 656,680,342
(E) 前期繰越損益金	△ 7,291,646,044	△ 7,380,007,186	△ 7,870,401,730	△ 10,170,011,615	△ 8,828,176,715	△ 8,857,836,229
(F) 追加信託差損益金	2,715,939,487	2,571,827,968	2,363,020,225	2,237,142,746	2,157,140,714	2,033,376,999
(配当等相当額)	(5,549,828,038)	(5,370,156,655)	(5,173,881,488)	(5,081,982,580)	(5,077,763,204)	(4,939,777,962)
(売買損益相当額)	(△ 2,833,888,551)	(△ 2,798,328,687)	(△ 2,810,861,263)	(△ 2,844,839,834)	(△ 2,920,622,490)	(△ 2,906,400,963)
(G) 合計(D+E+F)	△ 4,494,933,826	△ 5,273,847,073	△ 7,660,192,407	△ 6,399,434,500	△ 6,734,773,102	△ 7,481,139,572
(H) 収益分配金	△ 497,149,640	△ 478,858,599	△ 457,677,922	△ 313,107,751	△ 311,187,267	△ 301,418,177
次期繰越損益金(G+H)	△ 4,992,083,466	△ 5,752,705,672	△ 8,117,870,329	△ 6,712,542,251	△ 7,045,960,369	△ 7,782,557,749
追加信託差損益金	2,715,939,487	2,571,827,968	2,363,020,225	2,237,142,746	2,157,140,714	2,033,376,999
(配当等相当額)	(5,549,828,038)	(5,370,156,655)	(5,173,881,488)	(5,081,982,580)	(5,077,763,204)	(4,939,777,962)
(売買損益相当額)	(△ 2,833,888,551)	(△ 2,798,328,687)	(△ 2,810,861,263)	(△ 2,844,839,834)	(△ 2,920,622,490)	(△ 2,906,400,963)
分配準備積立金	4,213,338,670	3,908,789,311	3,595,490,915	3,483,685,001	3,422,438,255	3,286,705,488
繰越損益金	△ 11,921,361,623	△ 12,233,322,951	△ 14,076,381,469	△ 12,433,369,998	△ 12,625,539,338	△ 13,102,640,236

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程(総額)」の表を参照。

■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	第 36 期	第 37 期	第 38 期	第 39 期	第 40 期	第 41 期
(a) 経費控除後の配当等収益	435,757,779円	353,608,336円	357,617,412円	307,949,491円	297,237,893円	294,082,092円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	5,549,828,038	5,370,156,655	5,173,881,488	5,081,982,580	5,077,763,204	4,939,777,962
(d) 分配準備積立金	4,274,730,531	4,034,039,574	3,695,551,425	3,488,843,261	3,436,387,629	3,294,041,573
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	10,260,316,348	9,757,804,565	9,227,050,325	8,878,775,332	8,811,388,726	8,527,901,627
(f) 分配金	497,149,640	478,858,599	457,677,922	313,107,751	311,187,267	301,418,177
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	9,763,166,708	9,278,945,966	8,769,372,403	8,565,667,581	8,500,201,459	8,226,483,450
(h) 受益権総口数	24,857,482,009□	23,942,929,965□	22,883,896,102□	22,364,839,381□	22,227,661,988□	21,529,869,815□

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
	第 36 期	第 37 期	第 38 期	第 39 期	第 40 期	第 41 期
1 万 口 当 り 分 配 金	200円	200円	200円	140円	140円	140円
(単 価)	(7,992円)	(7,597円)	(6,453円)	(6,999円)	(6,830円)	(6,385円)

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、上記()内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱーグローバル・リートα・ファンド
円ヘッジクラス／通貨セレクトクラス

当ファンド（通貨選択型ダイワ先進国リートα 円ヘッジコース（毎月分配型）／通貨セレクトコース（毎月分配型））はケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱーグローバル・リートα・ファンド 円ヘッジクラス／通貨セレクトクラス」に投資しておりますが、以下の内容は一部の項目を除きすべてのクラスを合算しております。

（注）2015年12月14日時点で入手しうる直近の状況を掲載しております。

貸借対照表

2015年2月28日

	(円)
資産	
担保付スワップ投資、公正価値（取得価格： 51,263,406,207円）	52,159,029,704
デリバティブ金融商品、公正価値	454,985,549
未収利息	6,774,108
資産計	<u><u>52,620,789,361</u></u>
負債	
デリバティブ金融商品、公正価値	725,038,450
未払報酬代理店報酬	6,774,108
負債計	<u><u>731,812,558</u></u>
償還可能受益証券保有者帰属純資産	<u><u>51,888,976,803</u></u>
帰属先別純資産：	
ノンヘッジクラス受益証券	7,725,853,013
円ヘッジクラス受益証券	19,275,629,992
通貨セレクトクラス受益証券	<u>24,887,493,798</u>
発行済受益証券：	
ノンヘッジクラス受益証券	65,603,480
円ヘッジクラス受益証券	245,703,487
通貨セレクトクラス受益証券	<u>301,684,573</u>
受益証券一口当たり純資産価値：	
ノンヘッジクラス受益証券	117.77
円ヘッジクラス受益証券	78.45
通貨セレクトクラス受益証券	<u>82.50</u>

包括利益計算書

2015年2月28日に終了した年度

(円)

手数料収入	14,417,877,313
担保付スワップ投資純利益／(損失)	(2,073,708,592)
デリバティブ純損失	(5,628,144,909)
為替純利益／(損失)	55,632,252
投資純利益	6,771,656,064
営業経費	67,898,460
営業経費計	67,898,460
償還可能受益証券保有者帰属純資産変動	6,703,757,604

デリバティブ金融商品 (為替先渡契約)

満期日	契約数	購入通貨	通貨購入額	売却通貨	通貨売却額	公正価値 (円)
2015年3月18日	2	AUD	37,977,662.13	USD	29,335,217.16	43,257,954
2015年3月18日	2	BRL	111,038,122.45	USD	40,200,112.40	(187,116,292)
2015年3月18日	2	INR	2,514,130,748.85	USD	40,417,410.31	12,879,718
2015年3月18日	2	NZD	43,588,806.23	USD	31,942,792.02	118,086,585
2015年3月18日	2	TRY	98,574,488.29	USD	39,982,814.50	(113,290,447)
2015年3月18日	1	USD	566,953.26	BRL	1,590,239.39	1,631,016
2015年3月18日	1	USD	563,888.65	TRY	1,405,740.98	863,338
2015年3月18日	1	USD	570,017.88	INR	35,558,207.71	(375,699)
2015年3月18日	1	USD	499,531.80	ZAR	5,772,914.56	659,523
2015年3月18日	1	USD	450,498.00	NZD	613,720.76	(1,572,930)
2015年3月18日	1	USD	413,722.65	AUD	531,397.54	(216,444)
2015年3月18日	2	ZAR	408,416,374.19	USD	35,419,558.49	(56,123,096)
2015年3月25日	1	USD	16,220,604.00	JPY	1,929,533,903.00	8,890,317
2015年3月25日	1	USD	7,276,596.87	SGD	9,909,279.59	(570,148)
2015年3月25日	1	USD	3,409,060.98	HKD	26,463,346.64	(374,163)
2015年3月25日	1	USD	648,584.68	CAD	816,885.06	(645,036)
2015年3月25日	1	USD	16,291,781.65	AUD	20,928,883.70	(7,934,166)
2015年3月25日	1	USD	13,654,104.86	GBP	8,831,053.45	1,148,572
2015年3月25日	1	USD	10,063,226.22	EUR	8,867,659.23	13,580,987
2015年3月25日	1	JPY	1,525,448,926.00	AUD	16,494,139.29	(15,187,735)
2015年3月25日	1	JPY	60,728,950.00	CAD	643,384.67	(825,231)
2015年3月25日	1	JPY	942,250,391.00	EUR	6,983,061.99	5,932,076
2015年3月25日	1	JPY	1,278,475,248.00	GBP	6,964,950.93	(7,536,032)
2015年3月25日	1	JPY	681,329,834.00	SGD	7,814,006.95	(4,831,888)
2015年3月25日	1	JPY	319,200,718.00	HKD	20,835,284.00	(1,847,245)
2015年3月25日	1	JPY	13,038,274,017.00	USD	109,760,591.04	(78,536,435)
純評価損合計 (公正価値)						(270,052,901)

<補足情報>

当ファンド（通貨選択型ダイワ先進国リートα 円ヘッジコース（毎月分配型）／通貨セレクトコース（毎月分配型））が投資対象としている「ダイワ・マネースtock・マザーファンド」の決算日（2015年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの第41期の決算日（2015年12月14日）現在におけるダイワ・マネースtock・マザーファンドの組入資産の内容等を28～29ページに併せて掲載いたしました。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンドの主要な売買銘柄
公 社 債

(2015年6月16日から2015年12月14日まで)

買		付	売		付
銘	柄	金 額	銘	柄	金 額
		千円			千円
568	国庫短期証券 2016/2/15	7,000,594			
574	国庫短期証券 2016/3/14	5,000,640			
573	国庫短期証券 2016/3/7	4,500,619			
540	国庫短期証券 2015/9/24	3,799,996			
576	国庫短期証券 2016/3/22	3,500,336			
557	国庫短期証券 2015/12/14	2,999,999			
567	国庫短期証券 2016/2/8	2,999,997			
555	国庫短期証券 2015/12/7	2,500,000			
553	国庫短期証券 2015/11/24	2,060,000			
548	国庫短期証券 2015/11/2	2,000,000			

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

下記は、2015年12月14日現在におけるダイワ・マネースtock・マザーファンド（61,988,871千口）の内容です。

(1) 国内（邦貨建）公社債（種類別）

2015年12月14日現在								
区 分	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	う ち B B 格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率			
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満	
国債証券	千円 32,920,000	千円 32,924,716	% 52.9	% -	% -	% -	% -	% 52.9

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(2) 国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

2015年12月14日現在					
区 分	銘 柄	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
国債証券	559 国庫短期証券	—	2,000,000	2,000,000	2015/12/21
	560 国庫短期証券	—	1,600,000	1,599,999	2015/12/28
	563 国庫短期証券	—	1,000,000	999,999	2016/01/18
	566 国庫短期証券	—	1,500,000	1,499,999	2016/02/01
	567 国庫短期証券	—	3,000,000	2,999,998	2016/02/08
	568 国庫短期証券	—	7,000,000	7,000,567	2016/02/15
	573 国庫短期証券	—	4,500,000	4,500,585	2016/03/07
	556 国庫短期証券	—	1,000,000	1,000,118	2016/03/10
	574 国庫短期証券	—	5,000,000	5,000,619	2016/03/14
	576 国庫短期証券	—	3,500,000	3,500,336	2016/03/22
	575 国庫短期証券	—	1,500,000	1,500,441	2016/06/10
	342 2年国債	0.1000	720,000	720,540	2016/07/15
	100 5年国債	0.3000	600,000	601,512	2016/09/20
合 計	銘 柄 数 金 額	13銘柄	32,920,000	32,924,716	

(注) 単位未満は切捨て。

ダイワ・マネースtock・マザーファンド

運用報告書 第6期 (決算日 2015年12月9日)

(計算期間 2014年12月10日～2015年12月9日)

ダイワ・マネースtock・マザーファンドの第6期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要投資対象	円建ての債券
運用方法	①円建ての債券を中心に投資し、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。 ②円建資産への投資にあたっては、残存期間が1年未満、取得時においてA-2格相当以上の債券およびコマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。
株式組入制限	純資産総額の10%以下

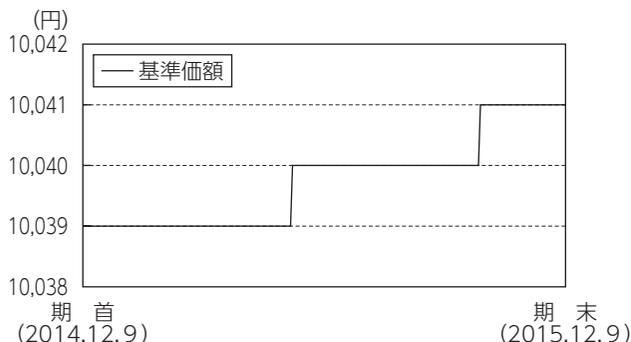
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額の推移



年 月 日	基準 価 額		公 社 債 組 入 比 率
	騰 落 率	%	
(期首)2014年12月9日	10,039	—	58.5
12月末	10,039	0.0	97.2
2015年1月末	10,039	0.0	71.6
2月末	10,039	0.0	62.6
3月末	10,039	0.0	56.0
4月末	10,039	0.0	58.0
5月末	10,040	0.0	59.9
6月末	10,040	0.0	56.2
7月末	10,040	0.0	57.4
8月末	10,040	0.0	55.6
9月末	10,040	0.0	59.3
10月末	10,041	0.0	71.0
11月末	10,041	0.0	52.1
(期末)2015年12月9日	10,041	0.0	51.6

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。

(注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,039円 期末：10,041円 騰落率：0.0%

【基準価額の主な変動要因】

低金利環境で利息収入が僅少であったことなどから、基準価額はほぼ横ばいとなりました。

◆投資環境について

○国内短期金融市場

期を通じて、日銀は金融市場調節の操作目標をマネタリーベースとする量的・質的金融緩和政策を維持しました。このような日銀の金融政策を背景に、短期金融市場では低金利が続く、無担保コール翌日物金利は0.07%台を中心に推移しました。国庫短期証券(3カ月物)の利回りは日銀の買い入れによる需給ひっ迫等を背景に、△0.11～0.02%程度で推移しました。

◆前期における「今後の運用方針」

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行なってまいります。

◆ポートフォリオについて

短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産による安定運用を行ないました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行なってまいります。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用	—
合 計	—

(注) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

■売買および取引の状況

公 社 債

(2014年12月10日から2015年12月9日まで)

国 内	買 付 額	売 付 額
		千円
国債証券	75,714,577	—
		(43,770,000)

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) ()内は償還による減少分、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2014年12月10日から2015年12月9日まで)

買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
568 国庫短期証券 2016/2/15	7,000,594		
574 国庫短期証券 2016/3/14	5,000,640		
573 国庫短期証券 2016/3/7	4,500,619		
540 国庫短期証券 2015/9/24	3,799,996		
557 国庫短期証券 2015/12/14	2,999,999		
567 国庫短期証券 2016/2/8	2,999,997		
520 国庫短期証券 2015/6/22	2,999,976		
555 国庫短期証券 2015/12/7	2,500,000		
553 国庫短期証券 2015/11/24	2,060,000		
536 国庫短期証券 2015/9/7	2,000,000		

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) 国内（邦貨建）公社債（種類別）

区 分	当 期			末			
	額面金額	評 価 額	組入比率	うちB B格以下組入比率	残存期間別組入比率		
	千円	千円	%	%	5年以上	2年以上	2年未満
国債証券	32,420,000	32,424,550	51.6	—	—	—	51.6

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(2) 国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

区 分	銘 柄	当 期		末		償還年月日
		額面金額	評 価 額	額面金額	評 価 額	
		千円	千円	千円	千円	
国債証券	557 国庫短期証券	—	3,000,000	2,999,999	2015/12/14	
	559 国庫短期証券	—	2,000,000	2,000,000	2015/12/21	
	560 国庫短期証券	—	1,600,000	1,599,999	2015/12/28	
	563 国庫短期証券	—	1,000,000	999,999	2016/01/18	
	566 国庫短期証券	—	1,500,000	1,499,999	2016/02/01	
	567 国庫短期証券	—	3,000,000	2,999,998	2016/02/08	
	568 国庫短期証券	—	7,000,000	7,000,594	2016/02/15	
	573 国庫短期証券	—	4,500,000	4,500,612	2016/03/07	
	556 国庫短期証券	—	1,000,000	1,000,123	2016/03/10	
	574 国庫短期証券	—	5,000,000	5,000,640	2016/03/14	
	575 国庫短期証券	—	1,500,000	1,500,448	2016/06/10	
	342 2年国債	0.1000	720,000	720,576	2016/07/15	
	100 5年国債	0.3000	600,000	601,560	2016/09/20	
合計	銘柄数 金額	13銘柄	32,420,000	32,424,550		

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2015年12月9日現在

項 目	当 期		率
	評 価 額	比	
	千円	%	
公社債	32,424,550	40.2	
コール・ローン等、その他	48,181,367	59.8	
投資信託財産総額	80,605,918	100.0	

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2015年12月9日現在

項 目	当 期	末
(A) 資産	80,605,918,433円	
コール・ローン等	48,180,683,441	
公社債(評価額)	32,424,550,578	
未収利息	481,238	
前払費用	203,176	
(B) 負債	17,814,126,500	
未払金	17,502,126,500	
未払解約金	312,000,000	
(C) 純資産総額(A-B)	62,791,791,933	
元本	62,535,131,959	
次期繰越損益金	256,659,974	
(D) 受益権総口数	62,535,131,959口	
1万口当り基準価額(C/D)	10,041円	

* 期首における元本額は817,136,908円、当期中における追加設定元本額は80,209,414,361円、同解約元本額は18,491,419,310円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ米国担保付債権ファンド(為替ヘッジあり) 112,594,660円、ダイワ米国担保付債権ファンド(為替ヘッジなし) 73,734,556円、ダイワ米国バンクローン・ファンド(為替ヘッジあり) 2014-07 9,963円、ダイワ米国バンク

ローン・ファンド(為替ヘッジあり) 2014-09 9,963円、ダイワ米国バンクローン・ファンド(為替ヘッジあり) 2014-11 9,962円、ロボット・テクノロジ関連株ファンド-ロボテック-3,983,667円、新興国ソブリン・豪ドルファンド(毎月決算型) 999円、新興国ソブリン・ブラジリアルファンド(毎月決算型) 999円、新興国ソブリン・ファンド(為替ヘッジあり/毎月決算型) 999円、アジア高利回り社債ファンド(為替ヘッジあり/毎月決算型) 999円、りそな毎月払出し・豪ドル債ファンド Aコース2,996,693円、りそな毎月払出し・豪ドル債ファンド Bコース2,494,264円、りそな毎月払出し・豪ドル債ファンド2 Aコース2,999,197円、りそな毎月払出し・豪ドル債ファンド2 Bコース698,255円、りそな毎月払出し・豪ドル債ファンド2 Bコース458,853円、りそな毎月払出し・豪ドル債ファンド3 Aコース1,994,416円、りそな毎月払出し・豪ドル債ファンド3 Bコース648,186円、りそな毎月払出し・豪ドル債ファンド3 Cコース179,498円、世界優先証券ファンド(為替ヘッジあり/限定追加型) 998円、US短期ハイ・イールド社債ファンド(為替ヘッジあり/毎月決算型) 3,988,832円、US短期高利回り社債ファンド(為替ヘッジあり/年1回決算型) 4,984円、ダイワ上場投信-日経平均レバレッジ・インデックス14,063,387,856円、ダイワ上場投信-日経平均ダブルインバース・インデックス2,983,307,364円、ダイワ上場投信-TOP I Xレバレッジ(2倍) 指数2,081,906,471円、ダイワ上場投信-TOP I Xダブルインバース(一2倍) 指数796,936,766円、ダイワ上場投信-日経平均インバース・インデックス37,546,378,604円、ダイワ上場投信-TOP I Xインバース(一1倍) 指数2,340,731,717円、ダイワ上場投信-J P X日経400レバレッジ・インデックス687,286,710円、ダイワ上場投信-J P X日経400インバース・インデックス278,916,205円、ダイワ上場投信-J P X日経400ダブルインバース・インデックス727,153,136円、ダイワ/シュローダー・グローバル高利回りCBファンド(限定追加型) 為替ヘッジあり7,009,001円、ダイワ/シュローダー・グローバル高利回りCBファンド(限定追加型) 為替ヘッジなし904,221円、ダイワ・プルベア・セレクト マネー・ポートフォリオ4,980,676円、ダイワ・プルベア・セレクト ドル高安ポートフォリオ258,995,899円、ダイワ・プルベア・セレクト 円高ドル安ポートフォリオ69,726,080円、ダイワ/モルガン・スタンレー新興4カ国不動産関連ファンド-成長の権首(つちおと) -11,000,000円、ダイワ/ハリス世界厳選株ファンド・マネー・ポートフォリオ197,260,107円、ダイワ・アセアン内需関連株ファンド・マネー・ポートフォリオ90,940,158円、ダイワ米国高利回り不動産証券ファンド19,942,168円、通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドII 豪ドル・コース(毎月分配型) 4,184,518円、通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドII ブラジリアル・コース(毎月分配型) 12,952,078円、通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドII 通貨セレクト・コース(毎月分配型) 4,981,569円、ダイワUS短期ハイ・イールド社債ファンド(為替ヘッジあり/年1回決算型) 199,295円、ダイワ米国バンクローン・オープン(為替ヘッジあり) 997円、ダイワ米国バンクローン・オープン(為替ヘッジなし) 997円、ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド(為替ヘッジあり) 997円、ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド(為替ヘッジなし) 997円、<奇数月定額払出型>ダイワ先進国リートα 為替ヘッジあり49,806円、<奇数月定額払出型>ダイワ先進国リートα 為替ヘッジなし49,806円、通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル好配当株α(毎月分配型) 米ドル・コース4,980,080円、通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル好配当株α(毎月分配型) ブラジリアル・コース12,948,208円、通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル好配当株α(毎月分配型) 通貨セレクト・コース3,685,259円、ダイワ先進国リートα 為替ヘッジあり(毎月分配型) 399,083円、ダイワ先進国リートα 為替ヘッジなし(毎月分配型) 99,771円、通貨選択型ダイワ先進国リートα 円ヘッジコース(毎月分配型) 399,083円、通貨選択型ダイワ先進国リートα 通貨セレクトコース(毎月分配型) 99,771円、ダイワ/ミレアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンド(為替ヘッジあり) 20,016,725円、ダイワ/ミレアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンド(為替ヘッジなし) 4,000,959円、ダイワ/ミレアセット・アジア・セクターリーダー株ファンド49,850,449円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズー 日本円・コース(毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズー 豪ドル・コース(毎月分配型) 99,691円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズー ブラジリアル・コース(毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズー 米ドル・コース(毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズー 通貨セレクト・コース(毎月分配型) 1,993,820円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII 予想分配金提示型 日本円・コース3,488,836円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII 予想分配金提示型 豪ドル・コース2,492,026円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII 予想分配金提示型 ブラジリアル・コース

ダイワ・マネーストック・マザーファンド

3,488,836円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 - 米ドル・コース19,936,205円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 - 通貨セレクト・コース11,961,723円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,041円です。

■損益の状況

当期 自2014年12月10日 至2015年12月9日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	4,849,980円
受取利息	4,849,980
(B) 有価証券売買損益	△ 176,333
売買益	15,667
売買損	△ 192,000
(C) 当期損益金(A + B)	4,673,647
(D) 前期繰越損益金	3,178,379
(E) 解約差損益金	△ 74,181,691
(F) 追加信託差損益金	322,989,639
(G) 合計(C + D + E + F)	256,659,974
次期繰越損益金(G)	256,659,974

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。